

越前町観光施設等 個別施設計画

令和 7 年 10 月



越前町

目 次

第1章 越前町観光施設等個別施設計画策定の背景・目的・位置付け・・・・・・・・・・	1
1. 策定の背景と目的	
2. 越前町公共施設等総合管理計画の概要	
3. 越前町観光施設等個別施設計画の位置付け	
第2章 越前町観光施設等個別施設計画の対象施設、計画期間・・・・・・・・・・	3
1. 越前町観光施設等の概要	
2. 対象施設の類型、一覧表	
3. 計画期間	
第3章 観光施設等の現状と課題・・・・・・・・・・	5
1. 施設概要および人口の推移と将来推計	
2. 施設利用状況	
3. 財政状況	
4. 各観光施設・温泉関連施設の施設維持管理経費の推移	
第4章 対策の優先順位の考え方および評価・・・・・・・・・・	12
1. 簡易劣化調査の実施結果	
2. 優先順位の考え方および評価	
3. 現況劣化度および重要度	
4. 総合劣化度	
第5章 対策内容と実施時期（実施計画）・・・・・・・・・・	14
1. 対策の基本方針	
2. 工程表、対策費用および効果	
第6章 今後の対応方針等・・・・・・・・・・	17
1. 今後の対応方針	
2. 計画のフォローアップおよび実施体制	

第1章 越前町観光施設等個別施設計画策定の背景・目的・位置付け

1. 策定の背景と目的

(1) 背景

本町は、平成17年2月に合併し、旧町村で保有していた公共施設やインフラ施設を引き継ぎ、また多種多様な町民のニーズに対応しながら行政上の必要性を考え、庁舎や学校、生活インフラ等を整備してきました。

しかし、その多くは用途目的の重複したものや老朽化が著しいものも数多くあり、今後、大規模改修や建替えなど多額の費用が必要となると考えられています。更に、急速に進む人口減少や超高齢化社会の進行、普通交付税の減少による財政状況の圧迫など、公共施設等の維持管理や改修・改築費用が他の行政サービスに重大な影響を及ぼすことが懸念されています。

そういった中、総務省からの通知「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について」（平成26年4月22日付総財務第75号自治財政局財務調査課長通知）により、地方公共団体が所有する公共施設等について、長期的な視野を持って「更新・統廃合・長寿命化」の対策を計画的に行うことで、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を進めるため、平成28年7月に「越前町公共施設等総合管理計画」を策定しました。

また、「インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議」（平成29年3月23日開催）において、令和2年度までのできるだけ早い時期に「個別施設毎の長寿命化計画（以下、「個別施設計画」という。）」を策定することとされたところです。

(2) 目的

「越前町観光施設等個別施設計画」は、前述の背景を踏まえ、長期的な視野を持って「更新・統廃合・長寿命化」の各種対策を計画的に行うことにより、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図り、「越前町公共施設等総合管理計画」の目標達成のため策定しました。

2. 越前町公共施設等総合管理計画の概要

越前町公共施設等総合管理計画は、最上位計画である「越前町総合振興計画」と整合性を図りながら、本町全体の公共施設等の管理の方向性を示した行動計画として位置付けられています。

また、個別に策定されている施設ごとの維持管理や長寿命化に係る方針や計画等とも整合性を図った上で、見直しをかけていくこととしています。

このため、以下の基本方針により、公共施設等の整備、維持管理及び運営に取り組んでいきます。

① 複合整備

施設の新規整備については、同一施設の複合化・統廃合などの可否判断を行った上で、実施にあたっての検討を行います。

② 適正管理

老朽化等により休止・廃止した施設については、売却や貸付等の可否判断を行います。それらが見込まれない場合は、原則取り壊しを行うなど、周辺環境や治安に配慮してきます。

③ 有効活用

利用率が低い施設や空きスペースが見受けられる場合については、民間等への貸付けや施設の転用などを検討します。

④ 未利用財産の処分

普通財産など、将来の利用が見込めない土地等については、売却を検討し、公共施設の維持管理に係る財源の確保を図ります。

⑤ 官民連携と町民との協働

指定管理者制度の導入施設の拡充やPFI等のPPP手法（公民連携）などの活用を検討するなど、効果的かつ効率的な公共施設の運営を図ります。また、必要に応じて、民間施設の活用を検討するなど、新たな公共サービスの導入に取り組みます。

⑥ 広域連携

近隣市町との相互利用や共同運用等ができる公共施設等の有無を判断し、効率化を図ります。

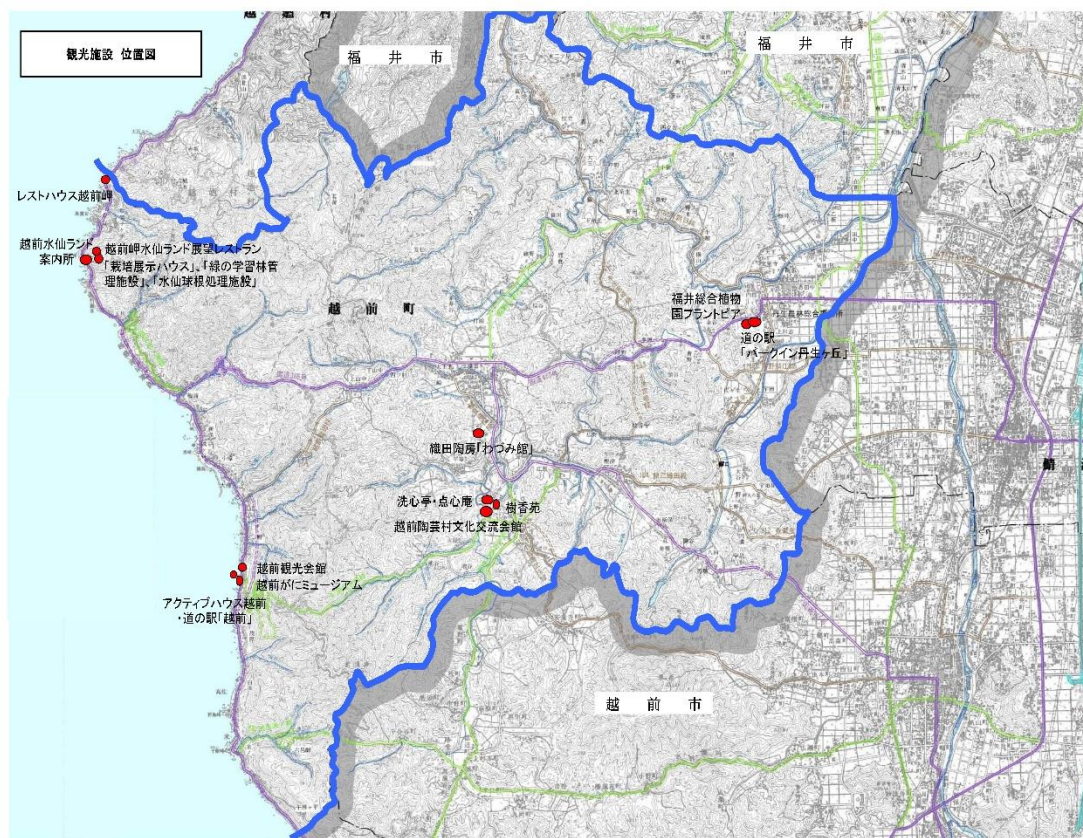
3. 越前町観光施設等個別施設計画の位置付け

最上位計画である「越前町総合振興計画」を公共施設のマネジメントの上で下支えする「越前町公共施設等総合管理計画」が、本町全体の公共施設等の管理の方向性を示した行動計画として位置付けられており、「越前町観光施設等個別施設計画」は「越前町公共施設等総合管理計画」を上位計画とした建築系施設の施設類型別の個別施設計画として位置付けるものです。

第2章 越前町観光施設等個別施設計画の対象施設、計画期間

1. 越前町観光施設等の概要

(1) 観光施設の配置状況



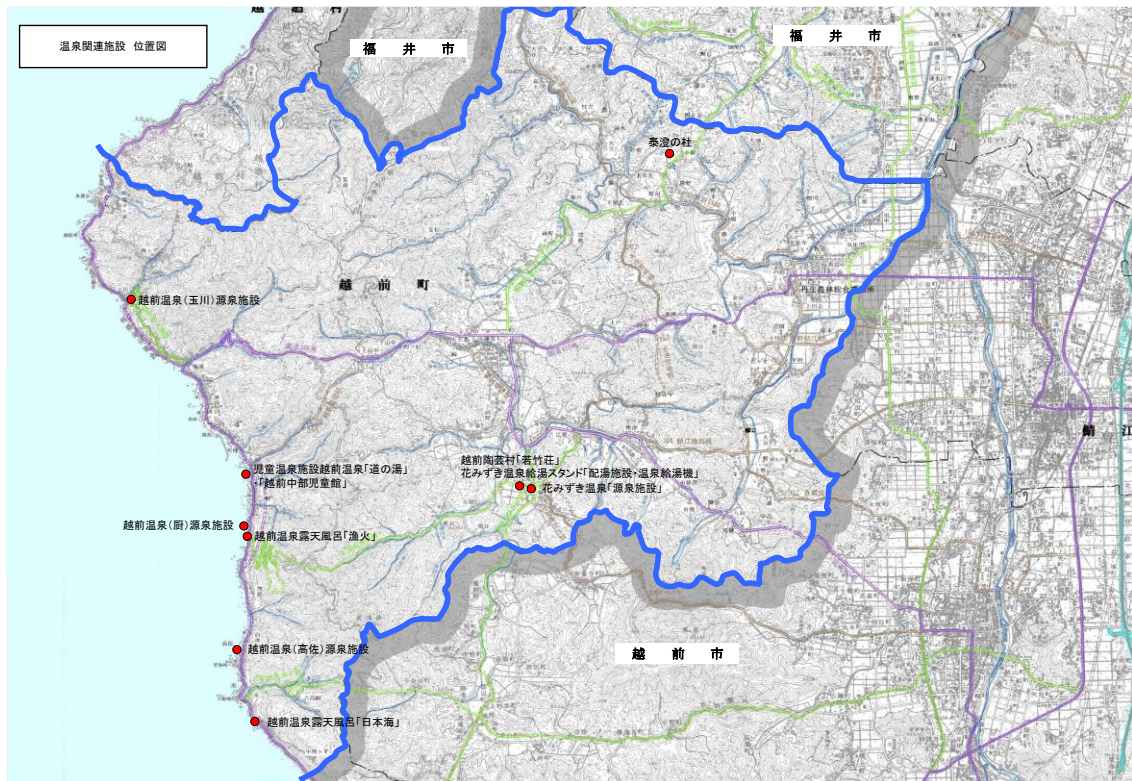
本町は平成 17 年 2 月に朝日町、宮崎村、越前町、織田町の 3 町 1 村で合併し、旧町村で保有していた観光施設を引き継ぎました。

観光施設は、越前町の西部の日本海側には、越前がにや越前水仙など県を代表するブランドを持つ越前地区に「越前がにミュージアム」や「越前岬水仙ランド」をはじめ、アクティブハウス越前や道の駅「越前」など、観光客が見て触れて楽しめる施設が多くあります。

本町の中中部には、越前陶芸村文化交流会館や織田陶房「わづみ館」、「点心庵」・「洗心亭」、樹香苑などがあり、日本六古窯のひとつ越前焼の懐かしい「土」の優しさに触れることができます。

本町の東部には、道の駅「パークイン丹生ヶ丘」や福井総合植物園「プラントピア」があり、福井県を中心とした里山の植物相と植生、植物の系統進化展示を通して、植物学の初歩を学ぶことができます。

(2) 温泉関連施設の配置状況



本町の観光施設等に区分される温泉関連施設は、海と里、合わせて5つの温泉が湧きだしており、朝日地区にある「泰澄の杜」をはじめ、宮崎地区の越前町農林漁業体験実習館「若竹荘」、越前地区の越前温泉露天風呂「漁火」、越前温泉露天風呂「日本海」、越前温泉「道の湯」など数多くの温泉施設が点在しています。

また、宮崎地区の花みずき温泉給湯スタンド「配湯施設・温泉給湯機・源泉施設」や越前地区の越前温泉源泉施設（玉川、厨、高佐）など、公営の温泉宿泊施設や民宿・旅館へ良質な温泉を供給するための施設があります。

2. 対象施設の類型、一覧表

越前町公共施設等総合管理計画における公共施設のうち「観光施設等」の類型に位置付けられている施設は以下のとおりです。

＜観光施設＞

施設名称	所在地	建築年月	構造	階数	面積 (㎡)	備考
福井総合植物園「プラントピア」(植物館)	朝日 17-3-1	平成 5 年 9 月	RC	3	2,008	
福井総合植物園「プラントピア」(ガラス温室)	朝日 17-3-1	平成 6 年 3 月	S	1	473	
福井総合植物園「プラントピア」(ガラス温室管理棟)	朝日 17-3-1	平成 6 年 3 月	木造	1	84	
道の駅「パークイン丹生ヶ丘」	上川去 45-1-7	平成 8 年 5 月	木造	1	255	
越前陶芸村文化交流会館	小曾原 7-8	平成 6 年 5 月	RC	2	3,372	
越前陶芸村「樹香苑」	小曾原 7-7-1	昭和 62 年 3 月	木造	1	818	
越前陶芸村「点心庵」・「洗心亭」	小曾原 120-3-20	昭和 49 年 9 月	木造	1	375	
アクティブハウス越前・道の駅「越前」	厨 71-326-1	平成 4 年 3 月	RC	3	4,175	
アクティブハウス越前・道の駅「越前」	厨 71-326-1	平成 26 年 11 月	RC	1	150	
越前がにミュージアム	厨 71-324	平成 12 年 5 月	RC	3	3,293	
越前岬水仙ランド「案内所」	左右、血ヶ平地係	平成 3 年 3 月	RC	2	349	
越前岬水仙ランド「水仙球根処理施設」	血ヶ平地係	平成 4 年 9 月	木造	1	89	
越前岬水仙ランド「緑の学習管理施設」	血ヶ平地係	平成 5 年 3 月	木造	1	69	
越前岬水仙ランド展望レストラン	血ヶ平 25-2-2	平成 8 年 3 月	RC	2	446	
越前観光会館	厨 71-327-4	昭和 60 年 1 月	RC	2	526	
レストハウス越前岬	梨子ヶ平 6-2 先	昭和 46 年 7 月	RC	1	478	
織田陶房「わづみ館」	下河原 37-42-1	平成 2 年 7 月	木造	1	251	

〈温泉関連施設〉

施設名称	所在地	建築年月	構造	階数	面積 (㎡)	備考
泰澄の杜	小倉 88-55-1	平成 8 年 8 月	RC	2	1,546	
越前町農林漁業体験実習館 「若竹荘」	小曾原 119-1-2	昭和 55 年 3 月	RC	1	891	
花みずき温泉給湯スタンド 「配湯施設・温泉給湯機」	小曾原 119-1-2	平成 10 年 11 月	S	1	69	
花みずき温泉給湯スタンド 「源泉施設」	小曾原 77-23	平成 10 年 11 月	木造	1	21	
越前温泉露天風呂「漁火」	厨 71-335-1	平成 16 年 3 月	S	2	868	
越前温泉露天風呂「日本海」	米ノ 66-97	平成 16 年 11 月	木造	2	325	
越前温泉「道の湯」・「越前中 部児童館」	道口 9-41	平成 16 年 11 月	S	2	518	
越前温泉（玉川）源泉施設	玉川 30-8-2	昭和 56 年 3 月	RC	1	40	
越前温泉（厨）源泉施設	厨 20-20-2	昭和 61 年 2 月	RC	1	26	
越前温泉（高佐）源泉施設	高佐 32-13-1	平成 16 年 11 月 (平成 18 年 3 月)	RC	1	40	

構造：RC：鉄筋コンクリート造 S：鉄骨造 軽量：軽量鉄骨造 木造：木造

3. 計画期間

本町が保有する公共施設は昭和 50 年代以降に集中して整備してきました。公共施設は建築後、木造であれば 20 年から 30 年、鉄筋コンクリート造であれば約 50 年で大規模改修や建替えが必要とされます。また、人口減少が顕著である本町にとって、保有する全ての公共施設を維持管理していくことは困難になります。

そのうえで、越前町総合振興計画の進捗状況や人口の推移、社会経済情勢、財政状況を勘案する必要もあることから、令和 3 年度から令和 42 年度までの 40 年間を計画期間とし、5 年毎に計画の見直しをしながら公共施設等の整備、維持管理及び運営に取り組んでいきます。

第3章 観光施設等の現状と課題

1. 施設概要および人口の推移と将来推計

(1) 朝日地区

○施設概要（観光施設）

施設名称	所在地	建築年月	構造	階数	面積 (㎡)	備考
福井総合植物園「プラントピア」(植物館)	朝日 17-3-1	平成 5 年 9 月	RC	2	2,008	
福井総合植物園「プラントピア」(ガラス温室)	朝日 17-3-1	平成 6 年 3 月	S	1	473	
福井総合植物園「プラントピア」(ガラス温室管理棟)	朝日 17-3-1	平成 6 年 3 月	木造	1	84	
道の駅「パークイン丹生ヶ丘」	上川去 45-1-7	平成 8 年 5 月	木造	1	255	

福井総合植物園「プラントピア」は、丹生山地の自然の地形と植生を生かした植物園として開園し、園内施設としてはメインの植物館で、福井県を中心とした植物相と植生、植物の系統進化展示のほか、ガラス温室において各種サボテンや多肉植物が植栽展示されています。また、ウッディークラフト体験や草木染教室など様々な体験教室を年間通して行っています。平成 5 年 9 月建築で築 32 年が経過し、老朽化が進んできていることから、事前保全を含め施設設備改修が必要となっています。

道の駅「パークイン丹生ヶ丘」は、福井県で 2 番目に開設した道の駅です。道の駅として軽食やトイレ休憩はもちろん、地元特産品や新鮮な野菜などを販売しています。平成 8 年建築で築 29 年が経過し、施設設備の老朽化が目立ってきていることから、利用客の利便性向上、施設の長寿命化のため大規模な改修を予定しています。

○施設概要（温泉関連施設）

施設名称	所在地	建築年月	構造	階数	面積 (㎡)	備考
泰澄の杜	小倉 88-55-1	平成 8 年 8 月	RC	2	1,546	

泰澄の杜は、公共の温泉宿として男女それぞれ約 50 名が入浴できる大浴場のほか、露天風呂やサウナ、客室 11 室、宴会場、多目的室、研修室、体験実習室、ラウンジ、レストランなどを備え、付属施設として屋内ゲートボール場、ぶどう園、バーベキュー広場などもあります。

（２）宮崎地区

○施設概要（観光施設）

施設名称	所在地	建築年月	構造	階数	面積 (㎡)	備考
越前陶芸村文化交流会館	小曾原 7-8	平成 6 年 5 月	RC	2	3,372	
越前陶芸村「樹香苑」	小曾原 7-7-1	昭和 62 年 3 月	木造	1	818	
越前陶芸村「点心庵・洗心亭」	小曾原 120-3-20	昭和 49 年 9 月	木造	1	375	

越前陶芸村文化交流会館は、平成 6 年 5 月に越前陶芸村の文化発信拠点として音楽の演奏会や講演会などを行うことのできるクレイホールをはじめ、会議室、貴賓室を備え、ロビーでは日本六古窯の一つである越前焼などの自主企画展、越前焼窯元が作ったカップでコーヒーを楽しめ買うことも出来る珈琲時間コーナーがあります。

越前陶芸村「樹香苑」は、昭和 62 年 3 月に旧宮崎村がモデル木造施設として建設し、公設民営の料理旅館としてオープンしました。客室は 5 室と少ないですが、木のぬくもりが感じられる料理旅館となっています。建築が昭和 62 年で築 34 年が経過していることから、施設の老朽化により雨漏りなどが発生するなど修繕が必要な箇所が目立ってきています。

越前陶芸村「点心庵」・「洗心亭」は、越前陶芸村が昭和 46 年にオープンし、福井県陶芸館の横にそば処として昭和 49 年にオープンしました。建築が昭和 49 年で築 47 年と古く、空調設備をはじめ、施設設備に関しても老朽化により更新が必要な箇所が目立っています。

○施設概要（温泉関連施設）

施設名称	所在地	建築年月	構造	階数	面積 (㎡)	備考
越前町農林漁業体験実習館 「若竹荘」	小曾原 119-1-2	昭和 55 年 3 月	RC	1	891	
花みずき温泉給湯スタンド 「配湯施設・温泉給湯機」	小曾原 119-1-2	平成 10 年 11 月	S	1	69	
花みずき温泉給湯スタンド 「源泉施設」	小曾原 77-23	平成 10 年 11 月	木造	1	21	

越前町農林漁業体験実習館「若竹荘」は、昭和 55 年 3 月に農林漁業体験施設として建設され、その後、平成 10 年 1 月に、掘削工事により湧出した温泉を源泉から送湯管により引くことで温泉施設を備えた宿泊施設として現在に至っています。施設設備の老朽化により様々な箇所の修繕が必要になってきています。

花みずき温泉給湯スタンド「配湯施設・温泉給湯機」は、平成10年1月の掘削工事により湧出した温泉を各家庭で楽しんで頂くために設置した、ボイラー加熱型温泉スタンドです。

花みずき温泉給湯スタンド「源泉施設」は、上記2施設の温泉を供給するための源泉施設です。掘削深度は1,300mに及びます。

(3) 越前地区

○施設概要（観光施設）

施設名称	所在地	建築年月	構造	階数	面積 (㎡)	備考
アクティブハウス越前・道の駅「越前」	厨 71-326-1	平成 4 年 3 月	RC	3	4,175	
アクティブハウス越前・道の駅「越前」	厨 71-326-1	平成 26 年 11 月	RC	1	150	
越前がにミュージアム	厨 71-324	平成 12 年 5 月	RC	3	3,293	
越前岬水仙ランド「案内所」	左右、血ヶ平地係	平成 3 年 3 月	RC	2	349	
越前岬水仙ランド「水仙球根処理施設」	血ヶ平地係	平成 4 年 9 月	木造	1	89	
越前岬水仙ランド「緑の学習林管理施設」	血ヶ平地係	平成 5 年 3 月	木造	1	69	
越前岬水仙ランド展望レストラン	血ヶ平 25-2-2	平成 8 年 3 月	RC	2	446	H28 年度 改修工事
越前観光会館	厨 71-327-4	昭和 60 年 1 月	RC	2	526	
レストハウス越前岬	梨子ヶ平 6-2 先	昭和 46 年 1 月	RC	1	478	

アクティブハウス越前・道の駅「越前」は、平成4年3月にオープンし、平成25年10月に道の駅「越前」として道の駅に登録され、リニューアルオープンして以降、観光の玄関口として広域的観光ルートのゲートウェイ的役割を果たし、県内外の観光客が利用しています。

越前がにミュージアムは、平成12年5月にオープンして以来、越前がにや近海の魚たちの生態を遊びながら学ぶ施設として、町内小中学校の児童生徒のみならず県内外の観光客が越前町の漁業や「かに文化」に触れる場を提供しています。また、マーケット棟において、民間により近海で獲れる新鮮な魚介類を購入することも出来ます。

越前岬水仙ランドの「水仙球根処理施設」、「緑の学習林管理施設」は、越前水仙を展示・管理する施設として現在も利用されています。平成の始めに建築された施設が多いため、老

朽化による施設の不具合が目立ってきています。

越前岬水仙ランド「案内所」は、越前岬水仙ランドの入り口に位置する施設のため、平成3年から越前水仙のPRの場として、また、近海で獲れる新鮮な魚介類や干物の直売所として利用されてきましたが、現在は、越前岬水仙ランドの備品の保管庫として利用されています。築34年が経過し、老朽化による施設の不具合が目立つため、廃止が検討されています。

越前岬水仙ランド展望レストランは、平成8年3月に越前岬水仙ランド「自然文学資料館」としてオープンし、越前岬の絶景や越前水仙を題材にした越前町ゆかりの文学作品を展示した資料館として利用されてきましたが、観光客の更なる誘客に繋げるため、平成29年4月にガレットカフェ「HAZE（ヘイズ）」としてリニューアルオープンし、本格的なガレットを提供してきましたが、同年1月から国内で感染が確認されて以降、爆発的に感染が広がった新型コロナウイルスの影響により、緊急事態宣言が発令された令和2年4月から休業し、令和2年12月に閉店となり、未利用の状況となっていました。しかしながら、令和3年5月1日から民間貸付けにより近海で獲れた新鮮な海鮮丼などが食べられるレストラン「蟹かに亭水仙ランド店」として再度リニューアルオープンしました。

越前観光会館は、合併前の旧越前町の観光協会が入居し業務を行ってきましたが、平成26年3月に旧町村単位の観光協会が合併し越前町観光連盟となり、現在の道の駅「越前」内に移転してからは未利用の状態が続いています。

レストハウス越前岬は、昭和46年7月に建築され、平成30年5月より「合同会社 ^あ愛海士^{かし}」と建物賃貸借契約を締結し、新鮮な海の幸をメインとした和食の提供は、地元の人に愛され、憩いの場となっていました。しかし、築54年が経過し、老朽化による施設の不具合が目立つため、廃止が検討されています。

○施設概要（温泉関連施設）

施設名称	所在地	建築年月	構造	階数	面積 (㎡)	備考
越前温泉露天風呂「漁火」	厨 71-335-1	平成 16 年 3 月	S	2	868	
越前温泉露天風呂「日本海」	米ノ 66-97	平成 16 年 11 月	木造	1	325	
越前温泉「道の湯」・「越前中部児童館」	道口 9-41	平成 16 年 11 月	S	1	518	
越前温泉（玉川）源泉施設	玉川 30-8-2	昭和 56 年 3 月	RC	1	40	
越前温泉（厨）源泉施設	厨 20-20-2	昭和 61 年 2 月	RC	1	26	
越前温泉（高佐）源泉施設	高佐 32-13-1	平成 16 年 11 月 平成 18 年 3 月	RC	1	40	

越前温泉露天風呂「漁火」は、アクティブハウス越前・道の駅「越前」内に併設されており、昼には日本海が、夕方には夕日が、夜には星空と漁火が映える絶景の露天風呂が自慢の日帰り温泉施設です。

越前温泉露天風呂「日本海」は、平成 16 年 11 月に建設された越前地区南部にある越前海岸を一望できる日帰り温泉施設です。露天風呂からだけでなく、内湯からも越前海岸を一望できるロケーションが魅力の日帰り温泉施設です。

児童温泉施設越前温泉「道の湯」・「越前中部児童館」は、越前海岸の中央に位置し、夏の海水浴の帰りやドライブの疲れを癒すのに最適な日帰り温泉施設です。

越前温泉（玉川）は、玉川地区にある源泉施設で、源泉名は越前 1 号温泉（玉川温泉）です。越前温泉「なぎさの湯」などの公共の日帰り入浴施設をはじめ、町内約 8 軒の旅館等に温泉を供給しています。

越前温泉（厨）は、厨地区にある源泉施設で、源泉名は越前 2 号温泉（厨温泉）です。越前温泉露天風呂「漁火」や越前温泉「道の湯」などの公共の日帰り入浴施設をはじめ、町内約 12 軒の旅館等に温泉を供給しています。

越前温泉（高佐）は、高佐地区にある源泉施設で、源泉名は越前 3 号温泉（南部温泉）です。越前温泉露天風呂「日本海」などの公共の日帰り入浴施設をはじめ、町内約 5 軒の旅館等に温泉を供給しています。

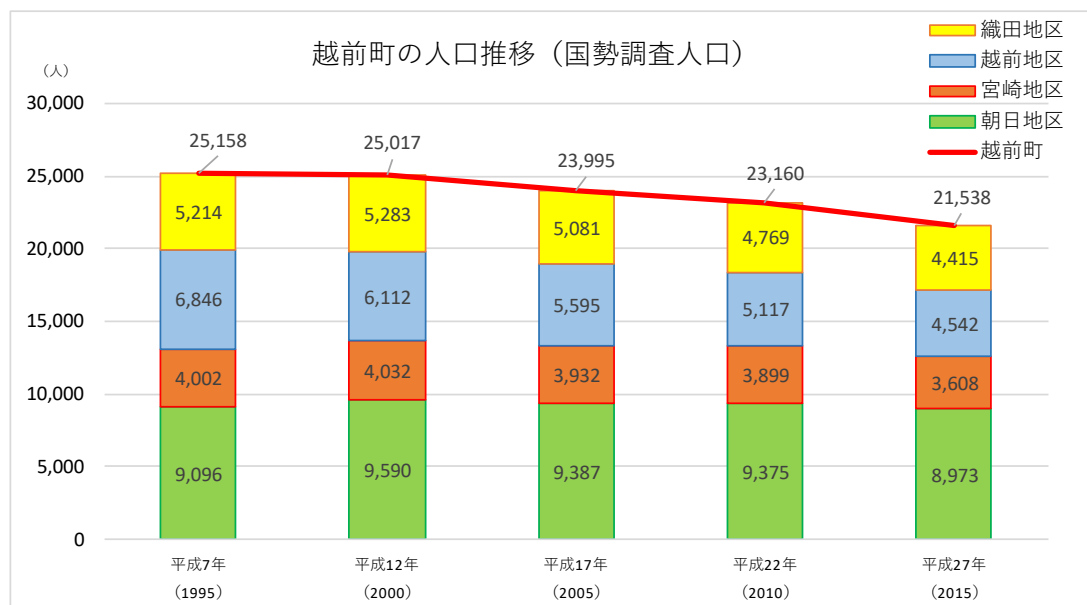
（４）織田地区（観光施設）

施設名称	所在地	建築年月	構造	階数	面積 (㎡)	備考
織田陶房「わづみ館」	下河原 37-42-1	平成 2 年 7 月	木造	1	251	

織田陶房「わづみ館」は、平成 2 年 7 月に建設された大人から子どもまで陶芸を楽しめる体験型施設です。陶芸教室では一度に 40 人まで陶芸体験することができます。平成 2 年 7 月建築で築 31 年が経過しており、老朽化が進んでいるため、施設設備の改修修繕が必要となってきました。

○各地区の人口の推移と将来推計

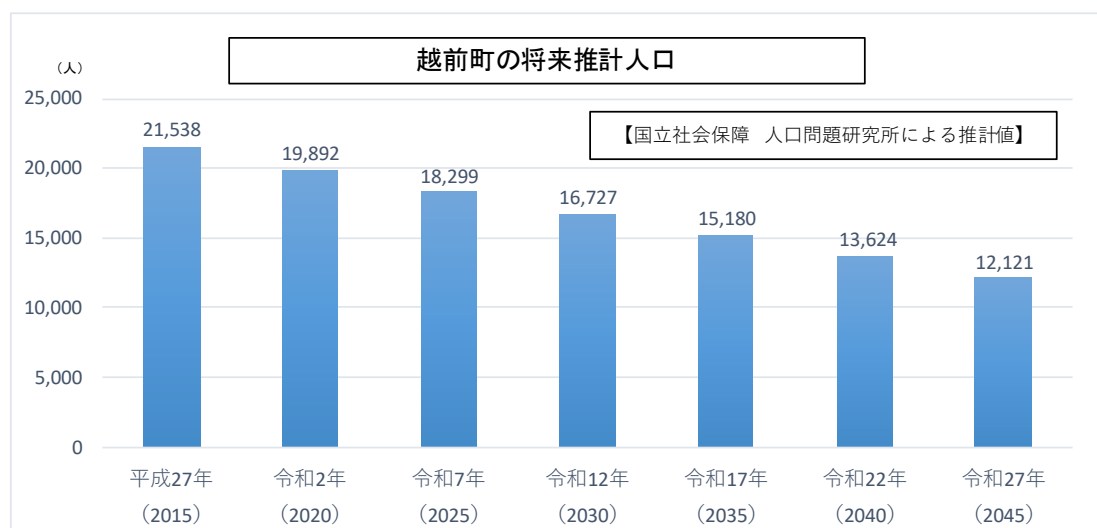
＜各地区の人口の推移＞



越前町の人口は、合併前は約 25,000 人で推移していましたが、平成 17 年 2 月の合併後、急速に人口減少が進み、平成 27 年国勢調査では 21,538 人にまで減少しています。

全ての地区で人口減少が見られますが、特に旧越前町では平成 7 年から平成 27 年の 20 年間で人口が 66.3%にまで減少しており、他地区に比べて人口減少が顕著となっています。

＜人口の将来推計＞



越前町の人口の将来推計は、国立社会保障 「人口問題研究所」の推計によると、更に町外への転出超過が顕著になることなどにより、平成 27 年から令和 27 年の 30 年間で、約 9,417 人減少（43.7%減少）すると推計されています。

２．施設利用状況

各施設の利用状況は下表のとおりとなっています。

○観光施設

施設名称	利活用状況
福井総合植物園「プラントピア」	利用人数：１３，２６９人
道の駅「パークイン丹生ヶ丘」	利用人数：２２，５３０人
越前陶芸村文化交流会館	利用人数：４４，５０８人
道の駅「越前」	利用人数：６８１，８７８人
越前がにミュージアム	利用人数：３４，０２８人
越前岬水仙ランド	利用人数：６，０３８人
越前観光会館	未利用
レストハウス越前岬	未利用
織田陶房「わづみ館」	利用人数：１，３１７人

※令和６年度の実績を基に記載しています。

○温泉関連施設

施設名称	利活用状況
泰澄の杜	入浴客数：７７，７１８人
越前町農林漁業体験実習館 「若竹荘」	入浴客数：１８，７６６人
越前温泉露天風呂「漁火」	入浴客数：７０，３５４人
越前温泉露天風呂「日本海」	入浴客数：２１，４８３人
児童温泉施設越前温泉 「道の湯」・「越前中部児童館」	入浴客数：１２，２９３人

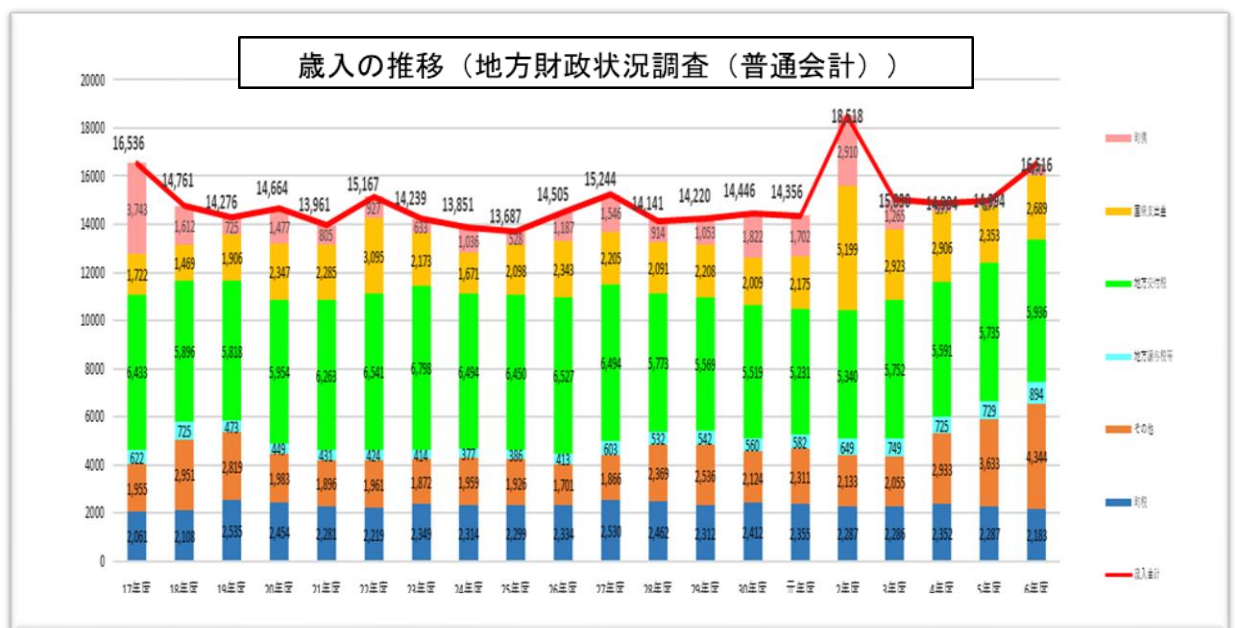
※令和６年度の実績を基に記載しています。

3. 財政状況

＜歳入の推移＞

令和6年度の歳入総額は、約165億円となっており、平成17年2月の町村合併後は概ね140～150億円で推移しています。

歳入全体として、地方交付税など依存財源の占める割合が高く、近年では約7割が依存財源となっています。これまでは、合併による普通交付税の合併算定替により、合併後の財政需要増加に伴う財源不足を補ってきましたが、平成27年度からその増額分が段階的に縮減され、令和元年度に合併算定替が終了しました。また、急速に進む人口減少による町税の収入減により、本町の歳入は、現在より減少していくことが予想されます。



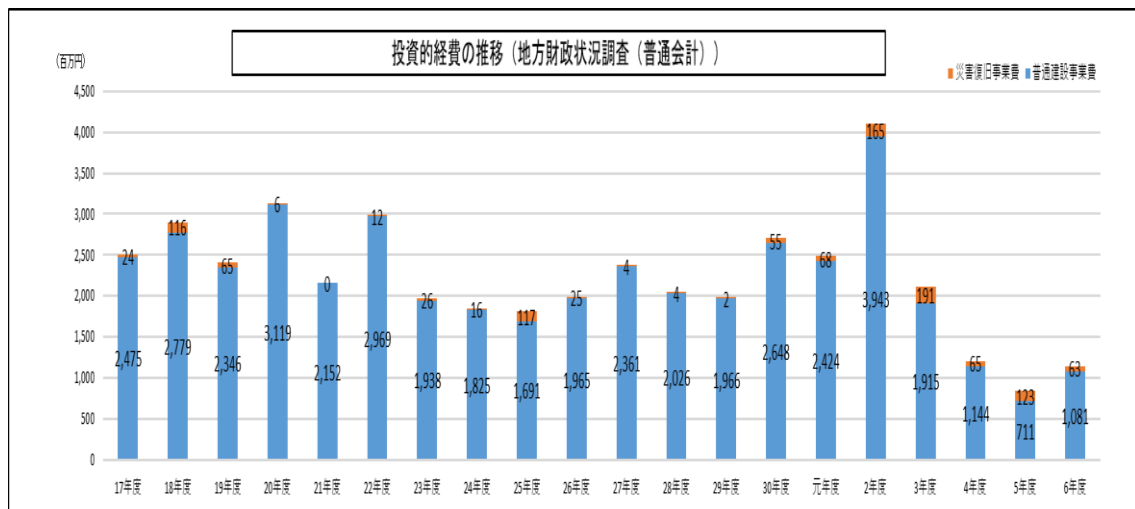
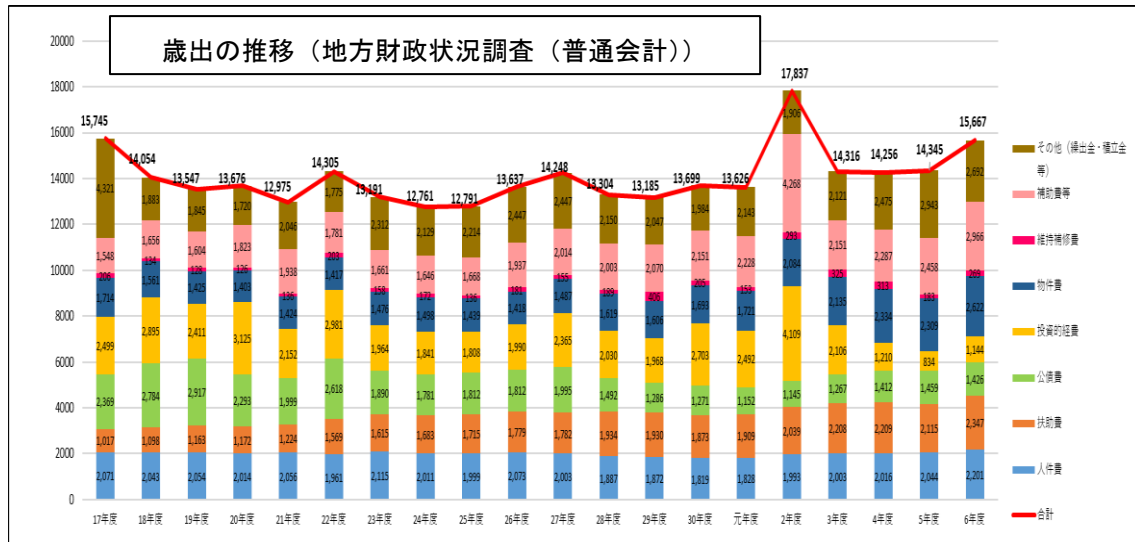
＜歳出の推移＞

令和6年度の歳出総額は約156億円となっており、平成17年2月の町村合併後は概ね130億～140億円で推移しています。

歳出全体として、近年は高齢化の進展やこれに伴う社会保障制度の充実により、扶助費が増加傾向にある他、各種団体への補助金や負担金の増に伴い補助費等が増加傾向にあります。

また、社会資本の整備に要する経費である投資的経費の内訳をみると、越前町役場や各コミュニティセンターなどの庁舎、朝日中学校や統合学校給食センターなどの学校施設、あさひ保育所等の児童福祉施設などの公共施設の整備をはじめ、道路や公園などのインフラ施設等の新增設等である普通建設事業費に毎年ばらつきはあるものの平均すると毎年約21億円投資してきています。

これら公共施設等の維持補修には、今後、より多くの費用が必要になると予想されるため、施設の維持管理・更新等を適正に推進していくことが必要です。



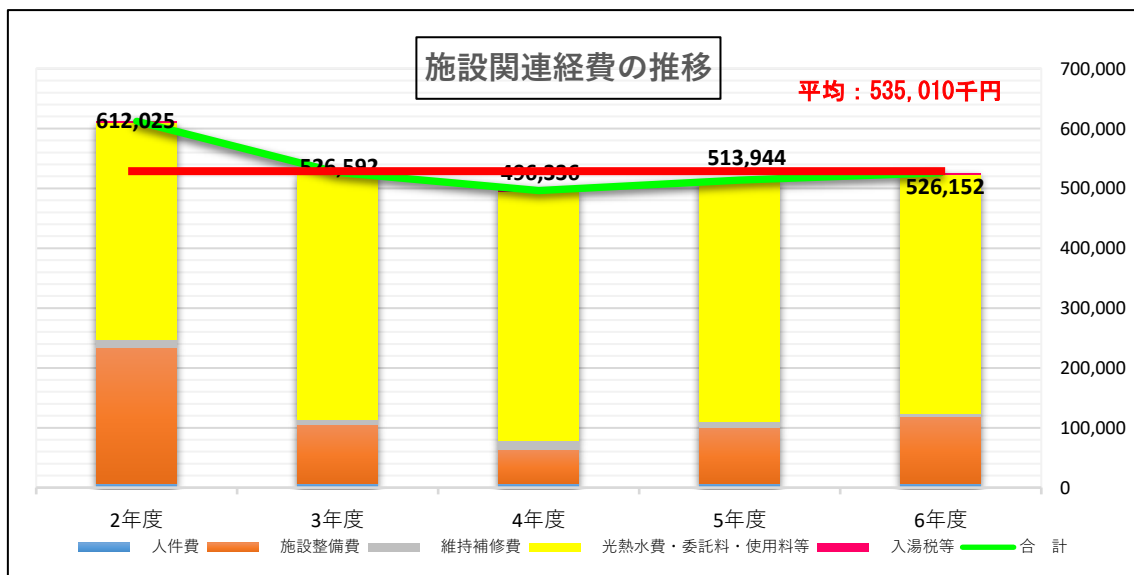
4. 各観光施設の施設維持管理経費の推移

令和2年度から令和6年度の5年間ににおける各観光施設・温泉関連施設の施設関連経費（整備・維持管理経費等）は、約4億9千6百万円から6億1千2百万円となっており、5年間の平均は約5億3千5百万円となっています。

光熱水費や施設管理委託料、施設点検委託料など経常的な経費が大部分を占めていますが、令和2年度に越前陶芸村文化交流会館の大規模改修や玉川源泉地老朽宿泊施設解体工事などを実施したこと、令和6年度に悠久ロマンの杜改修工事を実施したため、経費が多く掛かった年もあります。

<各観光施設・温泉関連施設の施設維持管理経費の内訳>

経 費 内 訳		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	合計	平均
観光施設等 合計	人件費	7,014	7,099	6,892	7,494	7,334	35,833	7,167
	施設整備費	226,688	98,242	56,158	91,891	111,007	583,986	116,797
	維持補修費	13,762	8,827	14,757	9,898	5,203	52,447	10,489
	光熱水費・委託料・使用料等	362,269	409,518	415,893	401,732	399,832	1,989,244	397,849
	入湯税等	2,292	2,906	2,636	2,929	2,776	13,539	2,708
合 計	合 計	612,025	526,592	496,336	513,944	526,152	2,675,049	535,010



第4章 対策の優先順位の考え方および評価

1. 簡易劣化調査の実施結果

簡易劣化調査の実施結果の詳細は別紙のとおりとなっています。（施設カルテ（観光施設等）参照）

各施設の評価シートによると、福井総合植物園「プラントピア」は総合劣化度 2,864 点となっており、築年数が 32 年であることと、外観、内部ともに経年劣化が見られ、現時点では通常の修繕で問題ないが、施設を長期間使用するためには、予防保全として、計画的に改修する必要があります。また、電気設備や給排水衛生設備、空調設備はほとんどが建築当初の設備であり、耐用年数を大幅に超過しています。

道の駅「パークイン丹生ヶ丘」は総合劣化度 2,091 点となっています。平成 8 年 5 月に開設された県内 2 番目の道の駅であり、築 29 年が経過しているものの、これまで定期的に管理修繕を行っていることから目立った劣化等は見られません。

泰澄の杜は、総合劣化度 1,759 点となっています。平成 8 年 8 月 20 日建築で、築 29 年が経過しています。外観、内部ともに経年劣化が見られ、機器の入替や部分的な修繕を行い現在に至っています。

越前陶芸村文化交流会館は、総合劣化度 2,460 点になっています。平成 6 年 5 月建築で、築 31 年が経過している。外壁タイル一部クラックが見られるほか、外柱に細かなクラックが見られるなど、徐々に劣化が進んできている。内部施設についても、ロビーの壁の一部などにクラックが見られるなど、現時点では問題ないが、予防保全が必要な状況です。また、電気設備や空調設備についても、建設当時から更新されていない設備も多く、耐用年数を大幅に超えて使用している状況です。

越前陶芸村「樹香苑」は、総合劣化度 4,603 点となっています。木造建築で築 38 年が経過しているため、修繕が必要な箇所が増えてきています。

耐用年数を大幅に超えた設備も多くあり、経年劣化により不具合が発生しているものもあります。その他設備についても、いつ不具合が発生してもおかしくない状況にあります。

また、大広間、事務所、玄関先などの屋根の構造や老朽化による雨漏りにより、シミや汚れがあり、早急に対応しないと施設の劣化速度も早まる恐れがあります。

越前陶芸村「点心庵」・「洗心亭」は、昭和 49 年 9 月 1 日建築で、木造建築である上に築 51 年と古く、老朽化により様々な箇所修繕が必要となっています。

越前町農林漁業体験実習館「若竹荘」は、総合劣化度 5,918 点となっています。昭和 55 年 3 月建築で、築年数 45 年と古く、当町が所有する観光施設・温泉施設の中で最も古い施設の一つとなっている。農林漁業体験実習館として、学生などが宿泊できる研修室や調理室、食堂を有し、浴場の花みずき温泉は美人の湯（泉質：ナトリウム－炭酸水素塩泉（低張性・弱アルカリ性・温泉））として町内外から入浴者が訪れています。築年数が古いため経年劣化による外壁のタイルが割れていたり、剥離している箇所があり、対応が必要です。施設内部もバリアフリー対応が一切されておらず、対応が必要です。

花みずき温泉給湯スタンド「源泉施設」は、総合劣化度 1,540 点となっています。建物は平成 10 年 11 月建築で築 27 年と木造施設（用途：ポンプ室）としては耐用年数を超過しています。ただ、それほど目立った劣化は見られず良好な状況を保っています。施設内部の設備も定期的なメンテナンスと更新を行っており、良好な状況です。今後も、計画的な施設設備の更新を行い、越前陶芸村「若竹荘」への温泉供給をはじめ、花みずき温泉を利用している旅館などへの適切な温泉供給に努めています。

アクティブハウス越前・道の駅「越前」は、総合劣化度 3,789 点となっています。平成 4 年 3 月に建設され、築 33 年が経過しています。平成 26 年 11 月に道の駅「越前」として大規模改修しており、その際に一部増築しました。

外壁は築 33 年が経過しているため、多数クラックが見られ、観光客も多く利用することから、外壁の改修時期について検討する必要があります。

アクティブハウス越前のトイレは、男女ともに和式しかないため、ユニバーサルデザインに対応したトイレの設置が必要です。

サウナ設備の本部が劣化しているため更新が必要です。また、ポンプ設備の劣化が激しいため早急に対応が必要です。

越前がにミュージアムは総合劣化度 1,671 点となっています。平成 12 年 5 月に建築された、日本で唯一の「かに」に関する博物館です。平成 28 年 7 月にミュージアム棟がリニューアルし、施設の充実が図られました。また、マーケット棟では、近海で獲れた新鮮な魚介類を販売しています。施設は、海岸沿いに建っているため、潮風にさらされ、外部設備等が劣化が進んでいる箇所が多く見受けられます。内部設備についても、リニューアル時に更新されなかった設備は耐用年数を超えている機器も多く、排煙窓やファンモーター等、既に故障し早急に対応が必要な箇所もあります。

越前岬水仙ランド「案内所」は、総合劣化度 4,685 点となっています。平成 3 年 3 月に建築され、築 34 年が経過し、外観内部それぞれで経年劣化による破損・腐食が起り、大規模改修を行わなければ再利用することが出来ないほど、施設としての機能が低下しています。

越前岬水仙ランド「水仙球根処理施設」は、総合劣化度 3,979 点となっています。水仙球根栽培温湿度管理機によって水仙の球根の温度等を調整し、年間を通して、自由に水仙を開花させるための施設であり、現在 3 台稼働しています。

施設は木造で、築 33 年が経過し、外部は徐々に劣化が進んできているが、内部は目立った劣化は見られません。

越前岬水仙ランド「緑の学習林管理施設」は、総合劣化度 4,238 点となっています。木造建築で築 32 年経過しており、長年の風雨等により外壁などの一部が破損しているほか、内部も破損している箇所がところどころ見受けられ、今後も当該施設を長く使い続けるためには、早急に対応する必要があります。

越前岬水仙ランド展望レストランは、総合劣化度 457 点となっています。平成 8 年 3 月建築で築 29 年が経過しているが、RC 造であるため、躯体等に目立った劣化は見られません。また、平成 29 年 2 月に大規模改修を実施しており、外部仕上げ・内部仕上げについても良好で、設備に関しても耐用年数を超えた設備は無く良好な状況です。また、平成 28 年度に耐震調査も実施しており、安全性も担保されています。

越前観光会館は、総合劣化度 5,210 点となっています。昭和 60 年 1 月に建築され、築 40 年が経過しています。鉄筋コンクリート造ではあるが、越前地区の海岸部に建築されていることもあり、潮風等にさらされ外壁の腐食が進み、クラックや欠損が多く見られます。特に玄関付近は外壁等の脱落もみられ危険な状況であります。平成 17 年 2 月の町村合併後は、(旧)越前町観光協会が入り業務を行っていたが、現在は未利用の状況が続き、内部設備についても急速に劣化が進んでいます。このため、当該施設を利用する場合には大規模修繕等が必要となるため、早急に今後の維持管理方針を決定する必要があります。

レストハウス越前岬は、総合劣化度 7,629 点となっています。昭和 46 年 7 月に建築され、築 54 年が経過していられます。鉄筋コンクリート造ではあるが、越前地区の海岸部に建築されており、潮風等にさらされ外壁の腐食が進み、クラックや欠損が見られ、特に北側は外壁等の脱落もみられ危険な状況です。

越前温泉露天風呂「漁火」は、総合劣化度 2,433 点となっています。平成 16 年 3 月建築で、築 16 年が経過しています。建物躯体は鉄筋コンクリート造であるため、特に異常は見られないが、海岸沿いにある温泉施設であるため、潮風や塩水にさらされることが多く、空調設備の室外機などは劣化により早急に対応が必要な箇所も多くなっています。

また、増築した建物との接続部や窓のサッシなどから雨漏り、漏水が発生していることから対応が必要です。

その他、ボイラー設備など機械設備等に関しては、定期的に更新しており、不具合は発生していません。

越前温泉露天風呂「日本海」は、総合劣化度 2,290 点となっています。平成 16 年 11 月築で築 21 年が経過しています。木造建築であるため、耐用年数に徐々に近づいてきており、外壁の塗装劣化や内風呂や露天風呂にもヒビ割れが見られるようになってきています。

源泉受水槽も下部から水漏れが見られるため、修繕が必要となっています。

越前温泉「道の湯」・越前中部児童館は、総合劣化度 1,082 点となっています。平成 16 年 11 月建築で、築 21 年と比較的新しく、1 階に温泉施設、2 階に児童館がそれぞれ設置された施設です。

「道の湯（泉質：ナトリウム－炭酸水素塩・硫酸塩泉（低張性弱アルカリ性温泉）」は、ぬるっとした肌触りが心地よく、常連客が多いです。

海岸沿いに建つ施設のため、潮風にさらされ、外部設備等に劣化が見られます。内部設備については、「道の湯」女湯の排煙装置が故障していたり、児童館の遊戯ホールでは一部タイルフロアがめくれあがったりしているため対応が必要です。

越前温泉（玉川）源泉施設は、総合劣化度 2,800 点となっています。昭和 56 年 3 月に設置し、越前温泉「なぎさの湯」などの公共入浴施設をはじめ、町内約 8 軒の旅館に温泉を供給しています。

施設は、築 44 年と古いものの、源泉施設の性質上、施設内部の機器の保全が重要であり、機器が風雨にさらされなければ問題ありません。

越前温泉（厨）源泉施設は、総合劣化度 1,350 点となっています。昭和 61 年 2 月に設置し、越前温泉露天風呂「漁火」や越前温泉「道の湯」などの公共入浴施設をはじめ、町内約 12 箇所の旅館に温泉を供給しています。

施設は、昭和 61 年 2 月と古いものの、源泉施設の性質上、施設内部の機器の保全が重要であり、機器が風雨にさらされなければ問題ありません。

配湯ポンプ等は平成 26 年 2 月に交換しているが、それぞれの配管の接続部などが錆による劣化などで腐食が進んでいる。

越前温泉（高佐）源泉施設は、総合劣化度 580 点となっています。平成 16 年 11 月に設置した比較的新しい施設で、越前温泉露天風呂「日本海」などの公共入浴施設をはじめ、町内約 5 軒の民宿や旅館に温泉を供給しています。

施設が築 21 年であるため、施設躯体などは異常は見られません。内部設備についても、現在のところ一部設備（配湯ポンプ、逆洗ポンプなど）で劣化による錆が見られるものの、稼働する上では問題はありません。

織田陶房「わづみ館」は、総合劣化度 4,108 点となっています。木造で築 35 年が経過しており、雨漏りとみられる腐食や劣化が目立ってきています。

施設利用者は、陶芸体験に来る観光客や陶芸愛好家が主であるが、施設の耐震対応は未対応で、バリアフリーにもなっていない。

少し離れてはいるが、近隣には同様の陶芸体験が出来る施設でもある福井県陶芸館があり、当該施設がわかりにくい場所に位置していることから、今後は、越前陶芸村の活性化を図る観点からも広域連携、統廃合を含め検討する必要があります。

2. 優先順位の考え方および評価

施設改修等の対策の優先順位は、評価指標の高いものうち、総合劣化度（築年数、構造、現況劣化度）の高いものを優先して改修していくこととします。

また、現況劣化度については、部位（建築、電気、機械、その他）毎に第一階層、第二階層を振り分け、それぞれ目視または設備の超過年数により A から D 判定し、部位の重要度を掛け合わせて劣化点を算出します。その上で、施設の用途別乗率を掛け合わせて建物劣化度としています。

3. 現況劣化度および重要度、建物劣化度

現況劣化度については、劣化状況の評価基準を下記のとおり A から D 評価とし、劣化点を算出します。その上で、部位の重要度の判断基準を大・中・小で振分し、それぞれを掛け合わせて加算したものを現況劣化度としています。

建物劣化度は、現況劣化度に対象となる施設の重要度を用途Ⅰから用途Ⅲに振分し、掛け合わせたうえで、施設の延べ床面積を再度乗じて算出しています。

	劣化状況の評価基準		劣化点
	建築	設備	
A 評価	概ね良好	標準耐用年数に基づく更新年数以内	10点
B 評価	局所、部分的に劣化が見られるが、安全上、機能上は問題なし	超過年数が10年以内	40点
C 評価	随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上、低下の兆しが見られる	超過年数が20年以内	70点
D 評価	劣化の程度が大きく、安全上、機能上に問題があり、早急に対応する必要がある	超過年数が20年超	100点

部位の重要度の判断基準		重要度係数
大	特に安全性に関わる部分（躯体、屋上、外壁等）	1.00
中	計画保全が望ましい部位（外部開口部、電気設備、空調設備等）	0.50
小	事後保全でよい部位（給排水、その他外部内部設備等）	0.25

重要度	対象施設	係数
用途Ⅰ	庁舎、各コミュニティセンター、生涯学習センター等の災害拠点施設	1.50
用途Ⅱ	避難所等防災上重要な施設	1.25
用途Ⅲ	その他	1.00

4. 総合劣化度

総合劣化度については、上記評価基準等に基づき、建物毎の建物劣化度を算出した上で、延べ床面積により割り戻しして算出しています。

第5章 対策内容と実施時期（実施計画）

1. 対策の基本方針

◆長寿命化改修の方針（40年以上経過した建物）

建物を目標耐用年数まで利用するために、各部位のグレードアップや設備を更新して耐久性を高めます。また、施設を長く利用できるよう、室内環境の向上、省エネルギー化、ユニバーサルデザインなどを検討し、実施していきます。更に、少子高齢化等の社会情勢や住民ニーズの変化に対応するために、施設機能の複合化などを実施していきます。

長寿命化のポイント

- ①耐久性の向上 ②施設環境・質の向上 ③新たな機能・複合化



具体的内容（大規模改修＋α）

【耐久性の向上】

中性化対策・鉄筋の腐食対策・かぶり厚確保のうちいずれか一つ以上、屋根・外壁仕上げ・塗装仕様のグレードアップ、電気・給排水管を現在標準に更新、今後30年以上利用できる内装の更新等

【施設環境・質の向上】

屋根・外壁の高断熱化やサッシの高断熱化結露対策、日射遮蔽、ユニバーサルデザイン化等

【新たな機能・複合化】

多目的・オープンスペースの設置等

◆大規模改修の方針

建物の躯体と機能を保持するために、必要な部位や設備などについて改修します。機能向上については、可能な範囲で行っていきます。また、内部改修は劣化が激しい部分や緊急を要する部分を優先的に行います。

具体的内容

【耐久性の保持】

躯体のクラック・欠損対策、防水・外壁仕上げ・シーリング等の外部老朽化改修

【機能保持・向上】

寿命による空調設備や照明機器の更新（LED化）、受変電発電設備の更新、給排水・防災避難設備の老朽化改修、エレベーターの更新改修等

【事後保全】

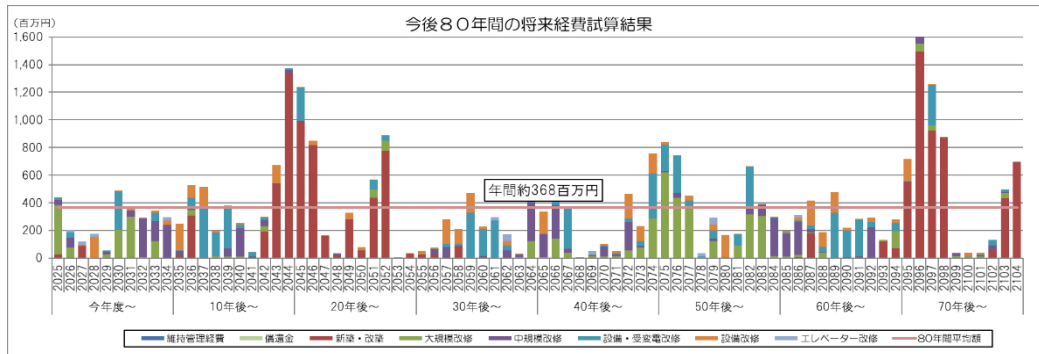
安全衛生上緊急を要する部分の改修。内部については劣化・損傷が著しく美観・機能上問題となる部分の優先的改修等

2. 対策費用および効果、工程表

(1) 対策費用および効果

現在ある観光施設等の施設を耐用年数毎（鉄筋コンクリート造で50年毎）に単純に更新した場合に係る費用は下図のとおりとなっています。維持・更新費用として年間平均3億6千8百万円必要となり、特に2044年や2096年には既存施設の老朽化により年最大約6億7千6百万円の更新経費が必要となります。

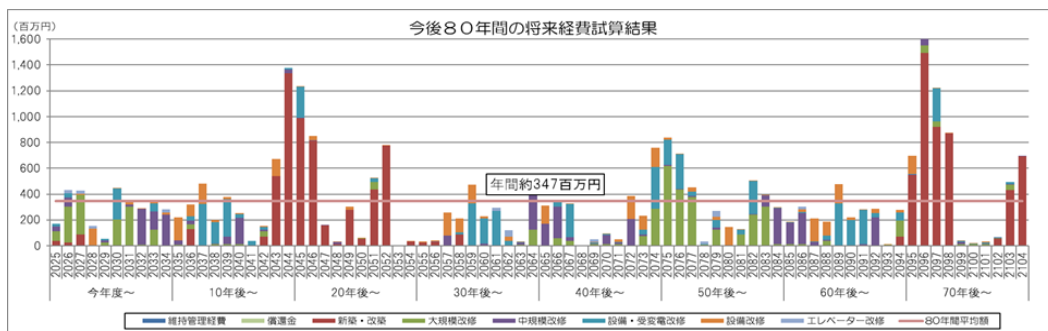
＜現在ある施設を耐用年数到達時に単純に同規模で建替えした場合の将来経費＞



※港区から提供を受けた公共施設公共施設将来経費試算ソフトを使い、国土交通省が令和2年5月25日に公表した令和3年度新営予算単価から将来掛かる経費を推計しました。

現在ある施設を予防保全しながら長寿命化した上で、一部施設（越前岬水仙ランド「案内所」、越前観光会館、レストハウス越前岬）を廃止した場合に係る費用は下図のとおりとなっています。維持・更新費用として年間平均約3億4千7百万円が必要となり、現在ある施設を単純更新した場合と比べ、年間2千百万円ほど維持管理経費が圧縮できることとなります。

＜現在ある施設を予防保全しながら長寿命化した上で、一部施設の廃止などを実施した場合の将来経費＞



(2) 工程表

施設の改修・更新計画の工程表は別紙のとおりとしますが、毎年行う施設の定期点検などにより判明した緊急を要する改修・修繕等については、施設の改修工程表を見直した上で対応することとします。（下図：更新計画工程表一部抜粋）

施設更新計画工程表（長寿命化した場合）

基本情報										工事情報											
No	建物名称	建物分類	面積	階数		E/V数	竣工年	維持管理方針 (利用年/管理方法)	施設 予定年	施設 廃止年	工事分類	初 回 時 期	改 修 周 期	契約 方法	設計期		工期		次 期 工 事		
				地上	地下										標準	修正	採用 値	標準		修正	採用 値
1	福井総合植物園「プラントピア」(植物館)	観光施設(RC)	2008	2	0	1	1993	標準			新築・改築		50		1	1	2	2			
											大規模改修	30	30	債務負担	1	1	2	2			
											中規模改修	20	20	単年度	1	1	1	1			
											設備・受変電改修	15	15	単年度	1	1	1	1			
											設備改修	13	15	単年度	1	1	1	1			
											エレベーター改修	17	17	単年度	0	0	1	1			
2	福井総合植物園「プラントピア」(ガラス温室)	観光施設(SRC)	473	1	0	1	1994	標準			新築・改築		50		1	1	2	1	1		
											大規模改修	30	30	単年度	1	1	2	1	1		
											中規模改修	20	20	単年度	1	1	1	1			
											設備・受変電改修	15	15	単年度	1	1	1	1			
											設備改修	13	15	単年度	1	1	1	1			
											エレベーター改修	17	17	単年度	0	0	1	1			
3	福井総合植物園「プラントピア」(ガラス温室管理棟)	観光施設(木造)	84	1	0	0	1994	標準			新築・改築		30		1	1	1	1			
											大規模改修	15	15	単年度	1	1	1	1			
											中規模改修	8	13	単年度	1	1	1	1			
											設備・受変電改修	15	15	単年度	1	1	1	1			
											設備改修	13	15	単年度	1	1	1	1			
											エレベーター改修	17	17	単年度	0	0	1	1			
4	越前町観光案内所「パークイン丹生ヶ丘」	観光施設(木造)	255	1	0	0	1996	標準			新築・改築		30		1	1	1	1			
											大規模改修	15	15	単年度	1	1	1	1	2021		
											中規模改修	8	13	単年度	1	1	1	1			
											設備・受変電改修	15	15	単年度	1	1	1	1			
											設備改修	13	15	単年度	1	1	1	1			
											エレベーター改修	17	17	単年度	0	0	1	1			
5	越前陶芸村文化交流会館	観光施設(RC)	3372	3	0	0	1994	標準			新築・改築		50		1	1	2	2	2026		
											大規模改修	30	30	債務負担	1	1	2	2			
											中規模改修	20	20	単年度	1	1	1	1			
											設備・受変電改修	15	15	単年度	1	1	1	1			
											設備改修	13	15	単年度	1	1	1	1			
											エレベーター改修	17	17	単年度	0	0	1	1			
6	宮崎・越前陶芸村「樹香苑」	観光施設(木造)	818	1	0	0	1987	標準			新築・改築		30		1	1	1	1			
											大規模改修	15	15	単年度	1	1	1	1			
											中規模改修	8	13	単年度	1	1	1	1			
											設備・受変電改修	15	15	単年度	1	1	1	1			
											設備改修	13	15	単年度	1	1	1	1			
											エレベーター改修	17	17	単年度	0	0	1	1			
7	宮崎・越前陶芸村「点心庵」 「洗心亭」	観光施設(木造)	375	1	0	0	1974	標準			新築・改築		30		1	1	1	1			
											大規模改修	15	15	単年度	1	1	1	1			
											中規模改修	8	13	単年度	1	1	1	1			
											設備・受変電改修	15	15	単年度	1	1	1	1			
											設備改修	13	15	単年度	1	1	1	1			
											エレベーター改修	17	17	単年度	0	0	1	1			
8	織田陶房「わづみ館」	観光施設(木造)	251	1	0	0	1990	標準			新築・改築		30		1	1	1	1			
											大規模改修	15	15	単年度	1	1	1	1			
											中規模改修	8	13	単年度	1	1	1	1			
											設備・受変電改修	15	15	単年度	1	1	1	1			
											設備改修	13	15	単年度	1	1	1	1			
											エレベーター改修	17	17	単年度	0	0	1	1			
9	越前観光会館	観光施設(RC)	526	2	0	0	1985	標準	2026		新築・改築		50		1	1	2	1	1		
											大規模改修	30	30	単年度	1	1	2	1	1		
											中規模改修	20	20	単年度	1	1	1	1			
											設備・受変電改修	15	15	単年度	1	1	1	1			
											設備改修	13	15	単年度	1	1	1	1			
											エレベーター改修	17	17	単年度	0	0	1	1			
10	越前がにミュージアム	観光施設(RC)	3293	3	0	1	2000	標準			新築・改築		50		1	1	2	2			
											大規模改修	30	30	債務負担	1	1	2	2			
											中規模改修	20	20	単年度	1	1	1	1			
											設備・受変電改修	15	15	単年度	1	1	1	1			
											設備改修	13	15	単年度	1	1	1	1			
											エレベーター改修	17	17	単年度	0	0	1	1			
11	アクティブハウス越前・道の駅「越前」	観光施設(RC)	4325	3	0	1	1992	標準			新築・改築		50		1	1	2	2			
											大規模改修	30	30	債務負担	1	1	2	2			
											中規模改修	20	20	単年度	1	1	1	1			
											設備・受変電改修	15	15	単年度	1	1	1	1			
											設備改修	13	15	単年度	1	1	1	1			
											エレベーター改修	17	17	単年度	0	0	1	1			
12	越前岬水仙ランド「案内所」	観光施設(SRC)	349	2	0	0	1991	標準	2026		新築・改築		50		1	1	2	1	1		
											大規模改修	30	30	単年度	1	1	2	1	1		
											中規模改修	20	20	単年度	1	1	1	1			
											設備・受変電改修	15	15	単年度	1	1	1	1			
											設備改修	13	15	単年度	1	1	1	1			
											エレベーター改修	17	17	単年度	0	0	1	1			
13	越前岬水仙ランド展望レストラン	観光施設(RC)	461	2	0	0	1996	標準			新築・改築		50		1	1	2	1	1		
											大規模改修	30	30	単年度	1	1	2	1	1		
											中規模改修	20	20	単年度	1	1	1	1			
											設備・受変電改修	15	15	単年度	1	1	1	1			
											設備改修	13	15	単年度	1	1	1	1			
											エレベーター改修	17	17	単年度	0	0	1	1			
14	越前岬水仙ランド「栽培展示ハウス」	観光施設(軽量)	273	1	0	0	1995	標準			新築・改築		50		1	1	2	1	1		
											大規模改修	30	30	単年度	1	1	2	1	1		
											中規模改修	20	20	単年度	1	1	1	1			
											設備・受変電改修	15	15	単年度	1	1	1	1			
											設備改修	13	15	単年度	1	1	1	1			
											エレベーター改修	17	17	単年度	0	0	1	1			
15	越前岬水仙ランド「緑の学習林管理施設」	観光施設(木造)	69	1	0	0	1993	標準			新築・改築		30		1	1	1	1			
											大規模改修	15	15	単年度	1	1	1	1			
											中規模改修	8	13	単年度	1	1	1	1			
											設備・受変電改修	15	15	単年度	1	1	1	1			
											設備改修	13	15	単年度	1	1	1	1			
											エレベーター改修	17	17	単年度	0	0	1	1			
16	越前岬水仙ランド「水仙球根処理施設」	観光施設(木造)	89	1	0	0	1992	標準			新築・改築		30		1	1	1	1			
											大規模改修	15	15	単							

第6章 今後の対応方針等

1. 今後の対応方針

地域活性化の核となる施設として必要不可欠な施設となります。

このため、定期的に巡回点検するなど、不具合箇所の早期把握に努めるほか、早期対処(簡易修繕)することで施設管理の質の向上を図ります。

また、公会計・固定資産台帳システムを活用することで、各施設の光熱水費をはじめとする運営管理費などの行政コストと併せて、ライフサイクルコストを適切に算出し、施設別のセグメント分析を行うことで、計画期間中の保全計画の実効性を担保していきます。

施設のあるべき姿として、施設の更新・改築時に、地域の人口の動態や施設の利用状況、観光客数の推移を的確に把握し、施設の規模を適正に見直していくこととします。(町全体としては、今後40年間で公共施設延床面積の30%を目指しています。)

2. 計画のフォローアップおよび実施体制

本計画は、観光施設の管理を担う商工観光課が中心となりマネジメントを行っていきます。また、温泉施設の管理を担う上下水道課、観光施策を展開する町観光連盟や公共施設の管理運営を担う公共施設管理公社もマネジメントに参画することとします。

また、計画期間中は毎年計画の実施内容や効果を精査するとともに、その内容を踏まえ、5年毎に見直しを行うこととします。